

(2) 活力あふれる中山間地域農業の構築

～労働力確保システムの構築と推進品目の導入による収益増～

【要約】

黒木地区において、短期雇用受入希望茶工場および関係機関からなる『短期雇用システム協議会』を設置し、受入体制を整備した。システム活用により、茶工場において全国から応募のあった農作業に慣れた短期雇用者を確保できた。雇用期間は約1～2.5ヵ月で主に摘採や製茶作業補助に従事し、高品質茶生産を支えた。雇用者及び被雇用者の事後評価は、双方とも満足度が高かった。

推進品目は、赤色カブ、リンドウ、サカキ、パンパスグラス等の導入・拡大が進んだ。

切り枝では、5地区28名で構成される「八女切り枝研究会」が発足した。

【目的】

中山間地域では、主要品目の茶で単価の低迷や労働力不足により経営環境の厳しさが増している。また、中山間地域全体で生産者および生産面積の減少傾向が続いている。

そこで、次の2つを目標に活動し、活力あふれる中山間地域農業を構築する。

○高級茶産地をけん引する伝統本玉露等の労働力確保システムの構築

○各地区農振協等と連携した、推進品目等の導入・拡大

1 活動対象の概況

○対象地域：八女市東部中山間地域（黒木、上陽、矢部、星野）

○対象者：JAふくおか八女茶業部会黒木支部会員400名（平成31年3月現在）
推進品目導入志向農家（既存生産者及び定年退職就農者等）

2 活動の内容等

(1) 推進体制整備による労働力確保システムの構築

玉露生産の大部分を占める茶業部会黒木支部をモデルに設定し、農業アルバイトを活用した短期雇用導入の提案を行い活用意識の醸成と協議会設置を支援した。

協議会設置後は農業アルバイト募集活動支援（愛媛県八幡浜市ミカン、沖縄県伊江島サトウキビ）及び雇用に関するマニュアルの整備、研修会の開催等を行った。

また、宿泊施設等を関係機関でチェックし受け入れ態勢の充実を図るとともに、短期雇用導入後は雇用者及び被雇用者に対するアンケートを実施し、満足度や問題点の把握と改善提案を行った。

(2) 推進品目等の導入・拡大

八女農推協中山間地振興部会や各地区農振協等で品目に関する協議と新たな品目の選定を継続して実施した。新規作付け希望者に対する相談会、説明会をJAと協力して行い、生産者の拡大を図った。推進品目の導入者には講習会や現地巡回、栽培展示ほ設置など定着に向けた技術支援を行った。

また、新規者掘起こしのため、JA支店および八女市支所庁舎内で推進品目の紹介展示を行った。

3 活動の成果

(1) 推進体制整備による労働力確保システムの構築

関係機関（JA、市、茶業部会黒木支部、普及指導センター、受け入れ希望工場）で構成する「短期雇用システム協議会」を新たに設置し雇用システム（全国からのアルバイト共同募集、雇用マニュアル等）を整備した。

システム利用を働きかけた結果、令和元年および2年の累計で6工場と1自販農園、その他に茶工場の構成員個人での雇用を合せて25名、先行事例の農作業応援隊を含めると総計48名の農業アルバイトの雇用が実現した。雇用者及び被雇用者のアンケートでは、双方から満足度の高い評価であった。

雇用者側からは摘採前の被覆資材の設置や摘採時の除去作業等、生葉摘採作業の効率化により、適期摘みが可能となり、品質向上につながるとの意見が多かった。



写真1 募集チラシ



写真2 積み込み作業を行うアルバイト

(2) 推進品目等の導入・拡大

推進品目の導入農家戸数は16戸、新規品目導入農家戸数は35戸となった。

花きでは、令和元年5月末に対象の中山間地域4地区に立花地区を加えた「JAふくおか八女切り枝研究会（28名）」が発足した。



写真3 赤カブの作付け状況と箱詰荷姿



写真4 リンドウの紹介展示
(JA黒木支所内)

4 今後の見通し又は課題

モデル地区で短期雇用システムが整備されたが、当初の目的である玉露の手摘み労力確保にはなじまなかったため、別の方策を含めた検討を行う。

中山間地の主力である茶業の経営状況が厳しいため、茶からの品目転換や補完品目の導入に継続して取り組む。

品目見直しや新規品目導入は関係機関と連携し、生産と販売の両面を考慮して進める。